

若ノ嶋 7連勝

大復活

紙相撲新聞

第163回本場所
中日～七日目

編集・発行
日本紙相撲協会

まさに土俵際からの奇跡の生還

昨年春場所優勝以来の大復活祭りか？

【第百六十三回本場所中日～七日目】

秋晴れの好天に恵まれた11月4日、中日と七日目が開催され、横綱若ノ嶋がただ一人7戦全勝で優勝争いの単独トップに立ち、これを横綱千代鈴、平幕の鉄甲、照の王の3人が追う展開となった。

五日目に小結四季嶋に敗れた新横綱大神楽は中日に大関西神門に、七日目に小結夢ノ花に敗れて4敗となり、八日目から休場することになった。大神楽の休場は初土俵以来初めてのこと。



↑七日目、絶好調の若ノ嶋にとって最大の難関、鬼門である鬼ヶ嶽との一番。苦戦が予想される中、出足鋭く鬼ヶ嶽を圧倒して奇跡的な7連勝を飾った。

↓星一つ差で追う千代鈴も快調。中日鬼ヶ嶽、七日目烏帽子岳を難なく下して逆転優勝を目指す。



磯ノ海親方の話では「大神楽は腕を痛めている」とのこと、後日診断書が提出される見込み。新横綱として多くの行事をこなす中で十分な稽古ができず、また、横綱としての重圧もあったものと推測される。新横綱の休場は誠に残念だが、体調を整えて来場所にも再び元気な雄姿をみせてもらいたいものだ。

「この一番に勝つか負けるかは若ノ嶋にとって大きいね」と朝日松理事長。確かにこの一番に勝てば、八日目以降の横綱大関戦に気持ちよく臨める。

注目の一環は若ノ嶋が踏み込みよく鬼ヶ嶽ののど輪を何とかかわして左を差して寄り切りで鬼ヶ嶽を下した。「よし！勝った」と喜びを隠しきれない錦風親方。これで初日から土つかずの7連勝。

初日からの7連勝は過去3度あり、その場所では優勝2回、優勝残しているという成績を残している。「奇跡の優勝か」との声も上がっているが、果たして優勝を手に入れることができるのか、残すは4日間だ。

横綱千代鈴は四日目に本人が「受け間違っただけ」と言うように立合いに失敗して綱乃花に白星を積み上げて行く。対戦が組まれるまでにはハードルが高くない。

全勝	若ノ嶋
一敗	千代鈴、鉄甲、照の王
二敗	西神門、綱乃花、白閃光
三敗	桃乃洲、出羽翼、六歌仙
四敗	若ノ嶋



若ノ嶋○(寄り切り)●烏帽子

1敗したことにより気が引き締まったか、中日は鬼ヶ嶽を、七日目は烏帽子岳をまったく寄せつけない横綱相撲で1敗を守った。「若関が好調なだけにこのまま勝って千秋楽の直接対決で雌雄を決したい！」と意気込んだ。



春ノ翔○(押し倒し)●西神門

七日目は早くも大関西神門と初顔の一番という相撲となるか注目されたが、立合いからの一気ののど輪を西神門を一蹴して白星を先行させた。



春ノ翔●(寄り切り)○綱乃花



鉄甲○(引き落し)●英 笹



西神門○(引き落し)●大神楽